



## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department  
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista  
São Paulo, SP – 01310-925

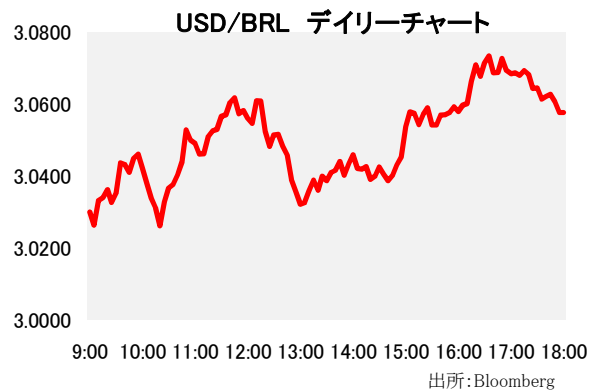
## 1. マーケット・レート

			4月2日	4月6日	4月7日	4月8日	4月9日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.1220	3.1260	3.1290	3.0490	3.0570	+0.0080
	BRL/JPY	Spot	38.32	38.26	38.43	39.37	39.42	+0.05
	EUR/USD	Spot	1.0882	1.0925	1.0814	1.0781	1.0659	-0.0122
	USD/JPY	Spot	119.74	119.47	120.31	120.13	120.57	+0.44
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13.295	13.272	13.030	13.172	13.215	+0.043
	Future	1Year(p.a.)	13.375	13.340	13.230	13.215	13.255	+0.040
	On-shore	6MTH(p.a.)	1.900	1.878	1.854	1.717	1.739	+0.022
	USD	1Year(p.a.)	2.510	2.525	2.513	2.386	2.415	+0.029
株式	Bovespa指数		53,123	53,737	53,729	53,661	53,803	142
CDS	CDS Brazil 5y		265.40	256.53	254.99	234.50	236.56	+2.06
商品	CRB指数		216.088	220.021	221.848	216.397	216.134	-0.26

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

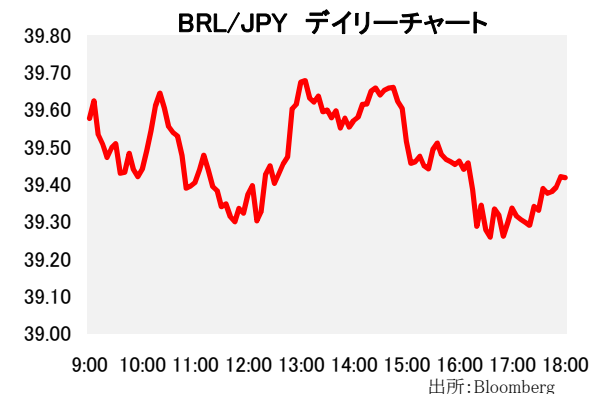
## 2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FIPE CPI-週次	0.78%	0.68%	0.78%
全国失業率	--	7.4%	6.8%
(米)新規失業保険申請件数	283K	281K	267K
(米)卸売在庫	0.2%	0.3%	0.4%



## 3. 要人コメント

フィッチレーティング	高いインフレと“双子の赤字”がブラジルのマクロ経済の不均衡を高めている。経済低迷、マクロ経済の不均衡拡大、財政の悪化、政府債務の大幅な増加がアウトルック引き下げの主な理由。
------------	--



## 4. トピックス

- 本日のドルレアルは3.0300で寄り付いた。早朝に発表されたインフレ率が予想より低かったこともあり、朝方はレアル買いが優勢で高値となる3.0240をつけた。しかし、強い米経済指標を受けて、ドル全面高の展開になると、レアルは3.06台まで反落した。その後、大手格付け会社フィッチがブラジル格付け見通しをネガティブに格下げしたが、直後の反応は限定的だった。逆に原油価格の上昇を受けてレアルは反発した。しかし、原油が反落するとレアルは売られ、本日の安値となる3.0740までジリ安の展開となった。結局、3.0570でクローズ。
- 本日発表された米国の新規失業保険申請件数は予想を大きく下回り、先月分も下方修正された。4週平均は2000年6月以来の低水準となった。先週発表された3月の米雇用統計が予想よりもかなり弱かっただけに、失業保険申請件数が低水準に留まったことは市場のサプライズを誘い、ドル全面高となった。
- イランが核協議枠組み合意の批准には制裁解除が大前提だと発言したことを受けて、原油価格は急反発した。WTI先物5月限は一時52ドル台をつけたが、反応は一時的で、結局安値圏の50ドル台後半で引けた。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。